

#23(2023年度第3回) CN専門委員会

2023.12.14
車工会 事務局

	内容		時間	
1. 2023年度 活動状況 【報告】			15:35~16:10	35分
	本部委員会	CN専門委員会	(15:35~15:40)	5分
		環境委員会	(15:40~15:45)	5分
		中央業務委員会	(15:45~15:50)	5分
		広報委員会	(15:50~15:55)	5分
		中央技術委員会	(15:55~15:57)	2分
	部会活動		(15:57~16:00)	3分
	支部活動		(16:00~16:01)	1分
	質疑		(16:01~16:10)	9分
2. 2024年度CN 活動の方向性【審議】	方向性案		16:10~16:55	45分
	論議			
3.まとめ			16:55~17:00	5分

1. 2023年度活動狀況【報告】

<2023年度活動計画 具体的推進事項1>

カテゴリー		活動計画	目標 (各委員会で設定)	役割分担
0	社外との連携	<ul style="list-style-type: none"> 自動車5団体活動との連携 (CN合同事務局 他) モビリティ委員会 (経団連) CJPT、自工会との連携 (電動化の技術情報) 	<div style="text-align: right;">継続</div> 本部委員会への展開と会員への有益情報のフィードバック	CN専門委員会 (増井委員長)
1	現状把握	<ul style="list-style-type: none"> CNアンケート調査、困り事の吸上げ 集計結果の分析、各委員会、部会への展開 	<div style="text-align: right;">継続</div> 回答100%	中央業務委員会 (矢野委員長)
		<ul style="list-style-type: none"> 取組み内容の検討 事業計画の見直し、項目追加 	<div style="text-align: right;">拡大</div> 寄り添った対応	各委員会 各部会・各支部
2	理解活動	<ul style="list-style-type: none"> CN取組み事例の情報収集 (会員からの収集) 	<div style="text-align: right;">拡大</div> 好事例の収集	各部会・各支部
		<ul style="list-style-type: none"> CN取組み事例集の作成 	<div style="text-align: right;">強化</div> 年度中の展開	環境委員会 (吉村委員長)
		<ul style="list-style-type: none"> 好事例の会員への情報展開 	<div style="text-align: right;">継続</div> HPで開示	広報委員会 (吉村委員長)
		<ul style="list-style-type: none"> 会員のCN取組み紹介 	<div style="text-align: right;">新規</div> 好事例の展開	広報委員会 (吉村委員長)
		<ul style="list-style-type: none"> CN勉強会開催、セミナー・講演会の開催 CN勉強動画の作成と会員への展開 	<div style="text-align: right;">継続</div> <ul style="list-style-type: none"> 入門編 4回/年、実践編 12回/年 Youtube動画の視聴数増 	CN専門委員会 (増井委員長)

<2023年度活動計画 具体的推進事項2>

カテゴリー		活動計画	目標 (各委員会で設定)	役割分担
3	計画支援	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の算出依頼 継続 ・集計結果の分析 (増減、再エネ率 他) 強化 ・ // 層別、規模感FB 	全会員フォローアップ 100%	環境委員会 (吉村委員長)
		<ul style="list-style-type: none"> ・LCA評価ツールの検討 継続 	自工会LCA分科会への参画	CN専門 (増井委員長) 環境 (吉村委員長)
		<ul style="list-style-type: none"> ・LCA評価ツールの会員への展開 新規 	車工会版の策定	環境委員会 (吉村委員長)
		<ul style="list-style-type: none"> ・商用車電動化への対応 (高電圧対応、動力源対応) 継続 	課題把握と対応 CJPT連携での課題解決	中央技術委員会 (布原委員長)
		<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル等のルール策定 継続 	好事例集の展開	環境委員会 (吉村委員長)
		<ul style="list-style-type: none"> ・車工会目標の展開と推進方法の支援 強化 	目標設定会員 増	環境委員会 (吉村委員長)
4	実行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・現地現物での具体的な取組み支援 継続 	診断と削減支援 5社	環境委員会 (吉村委員長)
		<ul style="list-style-type: none"> ・会員間の意見交換会を開催し、問題解決 新規 	開催 実施率100%	CN専門委員会 (増井委員長)
		<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー、CO2の見える化支援 新規 	管理表フォーマットの作成と提供	環境委員会 (吉村委員長)

本部委員会活動

本部委員会活動 <CN専門委員会>

カテゴリ	実施事項	担当	2023年									2024年		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	本部委員会との連携	CN 各本部委員会	活動計画 分担(案)展開	●17 ↓ 検討	●29 ↑ 報告		活動実施		●17 ↑ 報告	●14 ↑ 報告		次年度計画 →		
外部連携	<ul style="list-style-type: none"> 自動車5団体 経団連モビリティ委員会 CJPT、自工会との連携 (中央技術委員会) JTP連携 (環境委員会) 	CN	都度 (内容により各委員会に協力依頼)											
					◇CJPT 6/13				◇モビリティ委員会10/5	◇CJPT日程調整中				
										●20 部工会CN活動ヒアリング				
理解活動	<ul style="list-style-type: none"> CN勉強会、セミナー等の開催 CN勉強動画等の会員展開 	CN	入門編	●25	●29	●27			実践編 ●26	●23	○22	○	○	○
			●入門編動画 3部作 車工会HP掲載	入門・実践講師調整 →										
			動画作成・公開【入門編】	【入門編】勉強会→動画展開検討 (動画の視聴数UP)										
				セミナー検討 →						●29 パトライトセミナー				
計画支援	LCA評価ツールの検討	CN 環境	●LCAWG: 木材架装CO2調査結果 自工会との共有 ジェイ・バス、日本刀川、山田車体工業 ●16 ●28 ●13											
			自工会LCA分科会への参画、情報収集 (環境委員会と協力し対応)											
実行支援	会員間の意見交換会	CN					実施内容検討	募集	準備	○開催(仮)				
										課題集約			対応策検討 →	

<部工会CN活動の特徴>

- ・有馬会長の**リーダーシップ**、CN**専門事務局員**の配置、**会員によるWG活動**の強力推進
- ⇒ 1) 上手く**HPを活用**、HPのオープニング画面ではCNの言葉が目飛び込む
- 2) 段階別・設備別省エネ方法選定表等**事例を体系的に整理しHP掲載**
- 3) 一方で、434社**全会員への浸透は不十分**とのこと

=部工会HPオープニング画面=

<部工会ヒアリングからの学び>

- ・**HP活用**の重要性
- ・**事例の体系的整理**
- ・**部会・支部**は裾野拡大の上での**車工会の強み**



2024年車工会CN活動へ反映



CN関連情報(セミナー・支援ツール等)

カテゴリ	実施事項	担当	2023年									2024年		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	本部委員会	CN 環境			● 29 ● 4					● 3 ● 17	● 7 ● 14			● 5
理解活動	CN取組み事例集の作成	環境			(部会・支部)	好事例収集	集約・層別、HP開示 (広報)	フォーマット検討	事例集作成					
計画支援	CO2排出量の算出 集計結果の分析	環境			調査依頼・集計	分析・目標進捗確認、会員フィードバック	自工会へ提出	全会員調査フォロー継続中						
	LCA評価ツールの検討 会員への展開	環境	● 6		(自工会LCA分科会)	検討・標準化	LCA分科会への協力と情報収集	● 16	● 28	● 13 木材調査終了			車工会版の検討	
	リサイクル等のルール策定	環境				易解体性設計の事例収集と資料化								
実行支援	目標展開と推進方法支援	環境				目標値の展開と推進支援							推進事例展開	
	現地現物での具体的な 取組み支援	環境				支援先選定	〈支援WG〉	訪問支援(山田車体工業(株)、(株)いそのポデー)						
	エネルギー、CO2の 見える化支援	環境			管理フォーマット作成・展開 (CO2排出量調査帳票)	〈分析WG活動〉	見える化帳票検討	展開						

【支援WG】 現地訪問 意見交換会 結果

=山田車体工業(株) 2023年11月6日 (木) 13:00~16:00 杉山分科会長、梶ヶ谷委員等 =

1) 再エネの取組み：**太陽光発電**の設置、PPAも検討中

⇒ 支援チームの**事例**を用いて、設置条件、投資費用削減方法について対話

2) 省エネの取組み：エネルギーデータ、CO2排出量は把握済み、LED等から実施

⇒ データの見方、解析のやり方、改善着眼点等を解説し、**具体的な低減事例**を示した

⇒ 勉強会で進める**PDCA**は、まずは省エネ実践を考え、**コストの嬉しさの積み重ね**でOK

3) トラック部会長として

・CNの重要性は理解するが、**人を割くことは難しい**

・加盟目的は法規・社会動向情報の入手で他は不要という会員、LCAも**Scope1すらままならない**会員がいる

・部会メンバーの選び方等は、**社内展開できる責任・権限ある人**がマスト

【支援WG】現地訪問 意見交換会 結果

= (株)いそのボデー 2023年11月28日 (火) 13:00~16:00 杉山分科会長、梶ヶ谷委員等 =

1) 省エネの取組み

- ・CNの必要性はわかるが、実際に**どうやって進める**べきか

⇒ 既に取り組まれるチョコ案活動など、**生産カイゼンとCN**は繋がっている
将来の更新時に高効率設備導入が可能となる**検討が重要**

- ・会社全体のエネルギーデータは把握しているが**設備毎は未着手**

⇒ 「稼働時間 × 設備定格出力」の**概算も手段**のひとつ

⇒ 東北電力の**無料サービス**をご紹介

(20名規模でもエネルギー消費見える化による月4万円低減事例あり)

- ・末端のエアが圧力不足の場合、コンプレッサーの配管見直し・増圧が悩み

⇒ 現状設備を最大限活用し、**末端のエアツールから電化**を進めるのも効率的

=天井まで伸びるほどのチョコ案件数=



=CNに繋がるカイゼン多数貼り出し=



2) 車工会への要望など

- ・トラック部会や東北支部では、CNの**やり方がわからない**という声も多く、まだ浸透していない
 - ・**生産性向上**がCNに繋がることは理解したが、目先の作業がある中、**考えが至らない会社**も多い。CNの必要性を伝えるとともに、**生産性向上方策**を**情報展開**してほしい
- ⇒全てが今やることではないが、2050年にはやってなければならない。会員毎に取組み・理解レベルは様々で、御社にあったスピードで取り組んでほしいし、サポートする

= 山田車体工業(株)、(株)いそのボデー 2社の訪問支援を終えて =

- ①CNは通常の省エネ、コスト低減、生産性向上等の**改善活動が出発点**との再啓発が必要
- ②**車工会HP活用**により、CNの基礎知識や有効方策の検討等で**人員不足を支援**
-車工会HPを見に行く手間を省く工夫等も必要
- ③**同じ部会の人**の参加による取組み拡大が効果的
- ④LCA等は、会員の**状況に応じた取組み**が必要

1. 本部委員会活動 <中央業務委員会>

1. 2023年度CNアンケート実施状況

1) 集約状況 (10/12展開、11/10期限)

- ・ 12/13時点 **132**社回答あり (**42%**) 継続フォロー中
参考) 2022年度 256/310社 (83%)

2) 各社の困りごとや要望

- ・ **人材不足、資金不足、社内浸透しない**、らが上位を占める
- ・ 主要コメント

Scope3関連：省エネ法や都条例の指定事業所未満の小規模部品メーカーに、
エネルギー使用量の算出を求めるのには無理がある、データもらえない、等

勉強会関連：中小企業が取り組みやすい内容(初級や実践)のセミナーを増やして欲しい、等

3) 今後

- ・ 未回答会員へのフォローと回答集約：～12月末
- ・ 従来方策(HP掲載済)の周知拡大 →
- ・ 新規方策の検討：中央業務委員会#4 (3月)



カテゴリ	実施事項	担当	2023年									2024年		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
イベント	通常総会、常任委員会、理事会 各委員会 他	各委員会			◎ #1CN専門委員会					◎ #2CN専門委員会	◎ #3CN専門委員会			
理解活動	・CN取組み事例 事例集	部会・支部 環境												
	・好事例の会員への情報展開	広報			◎29 #1広報委員会 事例収集 (委員会、部会、支部等)		◎1 #2広報委員会 事例収集 (委員会、部会、支部等)			◎28 #3広報委員会 事例収集 (委員会、部会、支部等)			◎1 #4広報委員会 事例収集 (委員会、部会、支部等)	
							HP掲載			HP掲載			HP掲載	
	・会員のCN取組み紹介	広報			◎29 #1広報委員会 好事例のピックアップ		◎1 #2広報委員会 好事例のピックアップ			◎28 #3広報委員会 好事例のピックアップ			◎1 #4広報委員会 好事例のピックアップ	
							掲載方法検討			掲載方法検討			掲載方法検討	
					委員会事例の収集				掲載方法検討・個別取材					
							HP掲載			HP掲載			HP掲載	

部会	会社名	事例概要		資料	次ステップ移行
委員長	日産車体(株)	電力監視モニターによる電力使用量の見える化	社内で使用する電力について、設備やフロア、用途などで区分して使用量を社内イントラで確認できる電力監視モニターを設置し、各々の使用量やムダな電力使用が容易に確認可能	A	○
特装	極東開発工業(株)	①社内勉強会 ②エアコンプレッサ更新省電力化	①車工会開催の勉強会を社内展開 ②最新設備への更新に伴う消費電力の削減	B	①× ②△
特種	(株)河野ボデー製作所	レーザー加工機更新による消費電力低減(2024/1～)	CO2レーザー加工機をファイバーレーザー加工機に変更することで消費電力を低減	G	○
トラック	山田車体工業(株)	最新の業務用エアコン導入による消費電力の削減	自治体の中小企業等省エネ設備導入促進事業費補助金を活用し、7台のエアコンを代替	C	△
バン	日本フルハーフ(株)	自動塗装機導入での稼働時間短縮によるガス使用量削減	塗装工程において、手吹き塗装ブース入口に自動塗装機を導入することで後の手吹き塗装作業が省力化され、塗装ラインの稼働時間が短縮することにより、乾燥炉やボイラーのガス使用量を削減した。	I	△
トレーラ	日本トレクス(株)	フォークリフトのディーゼル車から電動車への転換更新による省エネ・CO2削減	工場内で使用しているフォークリフトを更新する際にディーゼル車から電動車に切り替えることで省エネ効果とCO2削減効果を出す。	D	○
バス	ジェイ・バス(株)	・取組み切り口紹介 ・照明LED化	・日常改善活動、再生可能エネルギー導入、革新技术の導入 ・工場内蛍光灯LED化	E	△
小型	トヨタ自動車東日本(株)	事務所における待機電力の低減活動の徹底について	在籍部署単位で推進していた事務所の待機電力低減を電源OFF可能な設備や機器を再点検し、更なる待機電力を低減した。	H	△
資材	スリーエムジャパン(株)	サイエンスで気候変動に貢献	・温室効果ガス2030年までに2019年比50%削減 ・エネルギー効率30%改善(2025年) ・再生エネルギーの使用(2025年までに50%) ・環境リキュレーション製品の取り扱い	F	△

減らす



フォークリフト 電動化による CO2削減

事例提供会社：日本トレクス(株)

問い合わせ先：製造部 生産技術課 橋本

050-3367-7468



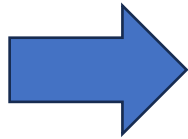


【概要】

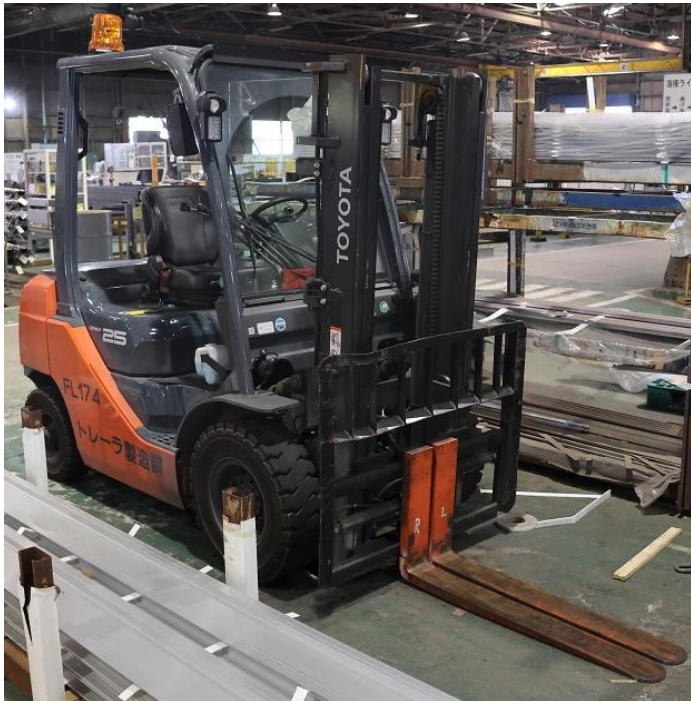
工場内で使用しているフォークリフトを更新する際にディーゼル車から電動車に切り替えることで省エネ、CO2削減を実現（2023年度で3台切替え計画）

【実施内容】

エンジン（ディーゼル）フォークリフト
メーカー：トヨタ
型式：02-8FD25
積載トン数：2.5トン



電動フォークリフト
メーカー：トヨタ
型式：8FBH25
積載トン数：2.5トン



減らす



【CO2削減効果】

CO2削減量… -8.1 t-CO2/年

森林植樹 16,195㎡相当
4,899坪相当

(森林のCO2吸収量：1haで年間5t…国交省HPより)
ご参考

サッカーグラウンド 7,140㎡
東京ドーム 46,755㎡

ディーゼル CO2排出量	CO2排出量/年
	9.9 t-CO2
熱換算量/年	熱量→CO2換算指数
144.8GJ	0.0686 tCO2/GJ

電動 リフトのCO2排出量	CO2排出量/年	※電動車は排ガスがゼロで、電動車自体からはCO2を排出しませんが、電力会社が電気をつくる段階でCO2が発生します。この発電時等に排出するCO2原単位にもとづき、電動車の電力使用量からCO2排出量を計算しています。
	1.8 t-CO2	
電気使用量/年	電気使用量→CO2換算指数	
4.8千kwh	0.382 tCO2/千kWh	

3台の切替えにより 合計で**-24.3 t-CO2/年**の削減効果

※年間稼働時間 1200時間（一日あたり5時間、年間240日）で計算

減らす



【原低効果】

省エネ効果(原油換算)・・・**-2.5KL/年**

ドラム缶



約 12.5 本分

ディーゼル エネルギー使用量	軽油使用量/年	熱換算量/年	原油換算量/年
	3.8KL	→ 144.8GJ	→ 3.7KL
軽油使用量/h × 年間稼働時間	軽油使用量/年	軽油→熱量換算指数	熱量→原油換算指数
3.2L × 1,200h =	3,840L	37.7GJ/KL	0.0258KL/GJ

電動 リフトの使用量	電気使用量/年	熱換算量/年	原油換算量/年
	4.8千kwh	→ 47.9GJ	→ 1.2KL
電気使用量/h × 年間稼働時間	電気使用量/年	電気→熱量換算指数	熱量→原油換算指数
4.0kw × 1,200h =	4,800kwh	9.97GJ/千kwh	0.0258KL/GJ

燃費改善額... -460,800円/年 ⇒ 3台で1,382,400円/年の原低効果

1 ディーゼル	軽油代/年	556,800円	
軽油使用量/h × 年間稼働時間	軽油使用量/年	軽油代/L	145円
3.2L × 1,200h =	3,840L		
2 電動 リフトの電気代	電気代/年	96,000円	
電力使用量/h × 年間稼働時間	電力使用量/年	電気代/kwh	20円
4.0kw × 1,200h =	4,800kwh		※契約形態・使用時間等により 電力単価は異なります

【投資対効果】**原低額：460,800円/年****投資額：840,000円（電動300万-ディーゼル216万）****投資回収：1.8年****【付帯効果】**

排ガスゼロ（工場内環境改善）

低騒音（騒音減による安全対策として、CPUによる速度制限が可能）



第2回中央技術委員会以降進捗無し。CJPTと4Q以降の進め方打ち合わせ予定

項目	当会からの要望	共有課題	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	FY24
代替能力	<ul style="list-style-type: none"> 電動PTOの設定 24V電源/電力の残置 冷凍コンプレッサ駆動用動力の確保 	電動PTOの特性及びレイアウト				情報収集と対応	
		架装物レイアウト成立性				情報収集と対応	
		電力供給のみとした場合の対応					
通信制御	<ul style="list-style-type: none"> 当面のアナログ信号 CAN通信化時の仕様 	シャシ側アナログ信号対応					
		CAN通信化のタイミング					
		通信制御信号詳細の整合				情報収集と対応	
電力消費最適化	<ul style="list-style-type: none"> 安心して電動化車両を使用できるエネルギーマネジメント 電力供給の要望確認 	架装物毎の必要電力量					
		安全確保、運搬物保護に必要なドライバー裁量への対応					
		コネクテッド技術の有効活用					
架装物締結	<ul style="list-style-type: none"> 既存架装構造継続 	シャシレイアウト・架装物締結				情報収集と対応	
架装支援	<ul style="list-style-type: none"> 架装工事に関わる既存工場/法規への対応 	作業者への高電圧教育対応	情報整理と会員展開				
		工場内高圧ガス法規への対応		情報整理と会員展開			
		架装車両への充電・水素供給の設備		情報整理と会員展開			
		架装資料記載内容				情報収集と対応	
関連法規	<ul style="list-style-type: none"> 関連法規明確化 	R10 (電磁両立性)		情報整理と会員展開			
		R100 (電気パワートレイン)		情報整理と会員展開			
		R155/156 (サイバーセキュリティ)	既存電気接続の継続活動と新規電気接続への対応				

7/21会員展開済

10/16会員展開済

自工会と継続協議中

CJPTとは四半期ごとに定例会議をもち相互の情報共有を図る

部会活動

■ 調査対象

正会員：206社/211社 【他団体所属、アンケート辞退会員を除く】

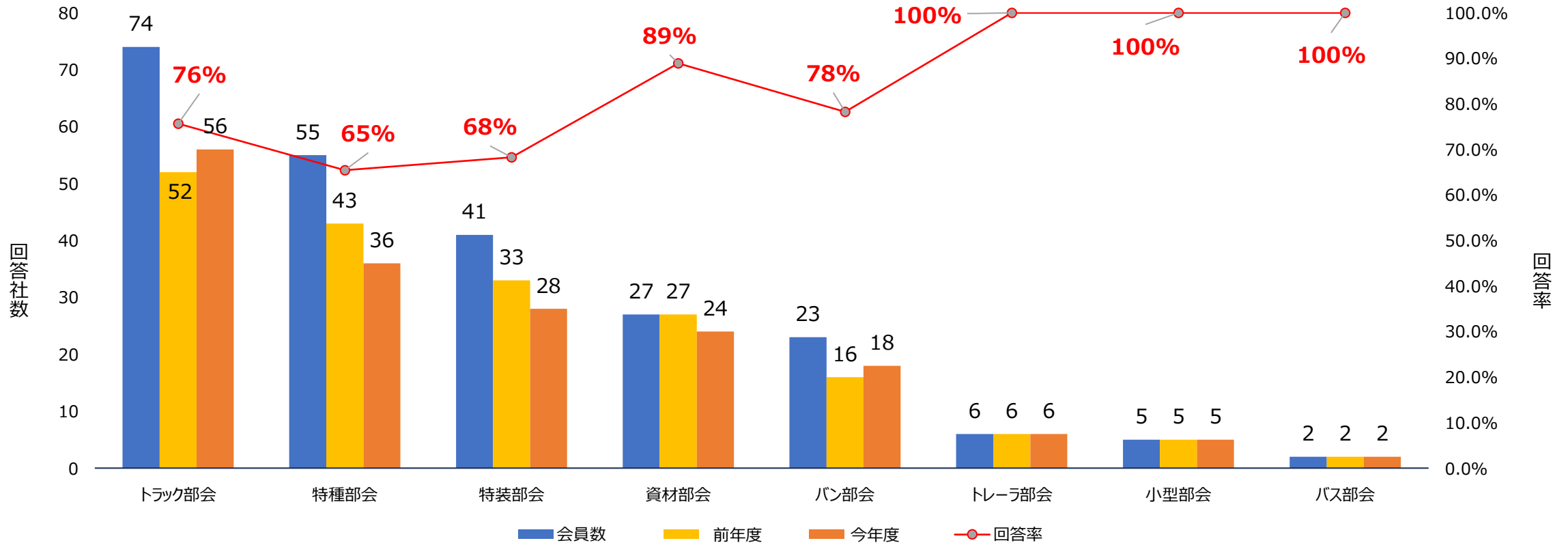
準会員：27社/105社 【他団体所属の会員を除く】

合計：233社

・前年度(最終)
対象231社
回答184社 [80%]

■ 部会別回答状況（12/6現在）

回答：175社 [75%]



<考え方>

- ・2030年、2050年での継続的な成長・発展のため、CN対応への取組みが
当会**全会員に必要**であり、**部会単位での活動波及が効果的**と考えられる
- ・部会毎に**部会の態勢・実状**に応じ進める ⇒ **部会毎に適した進め方**を検討
 - CNへの**理解**を部会会員へ促進（フェーズⅠ）
 - CN**実現に向けた活動**へ移行（フェーズⅡ）

支部活動

3. 支部活動 <中部支部CN勉強会&工場見学会>

出席会員様

2023年 7月17日
一般社団法人日本自動車車体工業会
中部支部

2023年度 中部支部 新企画の詳細ご案内

「カーボンニュートラル勉強会 & 岐阜車体(株)工場見学」

拝啓 皆様におかれましてはコロナ禍を乗り越えますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
今回は、参加申込ありがとうございます。支部運営ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
参加者の皆様に 詳細案内をご案内いたします。

--- 記 ---

日時 **2023年 7月21日(金)13:30~16:30**

参加費用 **無料** (通常は工場見学の一般受入なし)

集合 **岐阜車体工業株式会社【地図参照】**
岐阜県各務原市鷺沼三ツ池町6-455

車 : **岐阜車体 かとれあくらぶ駐車場【地図参照】**

電車: 名鉄各務原線「名電各務原駅」から徒歩1.0Km
: JR高山本線「各務原駅」から 徒歩1.1Km



・26社75名参加



質疑

2. 2024年度CN活動の方向性【審議】

2023年度活動まとめ

	活動成果	2024年への追加課題
CN専門委 (7° 8° -活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会入門編の動画化、車工会HPへの掲載 ・勉強会実践編による会員アクション促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会実施方法見直し(含:実践編HP掲載) ・5団体との連携強化
本部 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・自工会LCA分科会参画による情報入手と今後の対応論議(#22委員会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・規模差考慮等のLCA取組み
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会(WG)活動による会員支援 ・本部委員会活動の着実な推進 <ul style="list-style-type: none"> -広報：委員会社好事例の展開 -中央業務：困りごとの確認と対策案作成 -中央技術：電動化に向けた情報収集・展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会事例WG活動の更なる充実 -好事例の体系化等 ・環境委員会支援WG活動の更なる充実 ・車工会HP情報の効果的訴求方法検討
部会		<ul style="list-style-type: none"> ・改善活動が出発点であることの再啓発 ・環境委員会と部会の一体となった取組み
	<ul style="list-style-type: none"> ・部会活動へのCN取込み着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェーズ別対応(理解促進/実現に向けた活動)
支部	<ul style="list-style-type: none"> ・中部支部でのCN勉強会+工場見学会 	<ul style="list-style-type: none"> ・CN勉強会+工場見学会の拡大

WG	委員（敬称略）	2023年11月22日 工場環境分科会でのコメント		今後の方向性
		活動	体制	
事例	大河内（株）豊田自動織機	<ul style="list-style-type: none"> ・部工会を好例に、参考書的なまとめをしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例の体系的整理には工数不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ事例の体系整理を行うサポート体制の検討 (・事務局強化も必要か?)
	加藤（株）トックス			
	岸（東邦車輛株）			
	森田（事務局）			
支援	杉山（トヨタ車体株）	<ul style="list-style-type: none"> ・面着による重要な活動 ・是非継続すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ部会の人が入るとよりよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・CN担当者参加による部会と一体となった取組み
	梶ヶ谷（トヨタ自動車東日本株）			
	森田（事務局） +α			
分析	梶ヶ谷（トヨタ自動車東日本株）	<ul style="list-style-type: none"> ・生産増の中での低減が計画通りか明確化したい ・24年度から調査票含め検討 ・対象は30数社を想定 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局参加が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・着実なWG推進
	今沢（日本トックス株）			
	福田（トヨタ自動車九州株）			
	森田（事務局）			
LCA	杉山（トヨタ車体株）	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄まで追うことは難しい ・進め方の議論に時間かかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のメンバーだけでよいか検討必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・規模差考慮のLCA取組み ・先行会員巻込んだ活動検討
	赤松（ジェイ・バス）			
	永井（新明和工業株）			
	藤島（株）東洋ホデー ※架り分科会			

カテゴリー		活動計画	役割分担	2024年への追加課題
0	社外との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車5団体活動との連携（CN合同事務他） ・モビリティ委員会（経団連） ・CJPT、自工会との連携（電動化の技術情報） 	CN専門委員会 (増井委員長)	・5団体との 連携強化
1	現状把握	<ul style="list-style-type: none"> ・CNアンケート調査、困り事の吸上げ ・集計結果の分析、各委員会、部会への展開 	中央業務委員会 (矢野委員長)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・取組み内容の検討 ・事業計画の見直し、項目追加 	各委員会	
2	理解活動	<ul style="list-style-type: none"> ↳ ・CN取組み事例の情報収集 (会員からの収集) 	各部会・各支部	<ul style="list-style-type: none"> ・フェーズ別対応(理解促進/実現に向けた活動) ・CN勉強会+工場見学会の拡大
		<ul style="list-style-type: none"> ・CN取組み事例集の作成 	環境委員会 (吉村委員長)	<ul style="list-style-type: none"> ・改善活動が出発点であることの再啓発 ・環境委員会と部会の一体となった取組み
		<ul style="list-style-type: none"> ・好事例の会員への情報展開 	広報委員会 (吉村委員長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会事例WG活動の更なる充実 -好事例の体系化等
		<ul style="list-style-type: none"> ・会員のCN取組み紹介 		<ul style="list-style-type: none"> ・車工会HP情報の効果的訴求方法検討
		<ul style="list-style-type: none"> ・CN勉強会開催、セミナー・講演会の開催 ・CN勉強動画の作成と会員への展開 	CN専門委員会 (増井委員長)	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会実施方法見直し(含:実践編HP掲載)

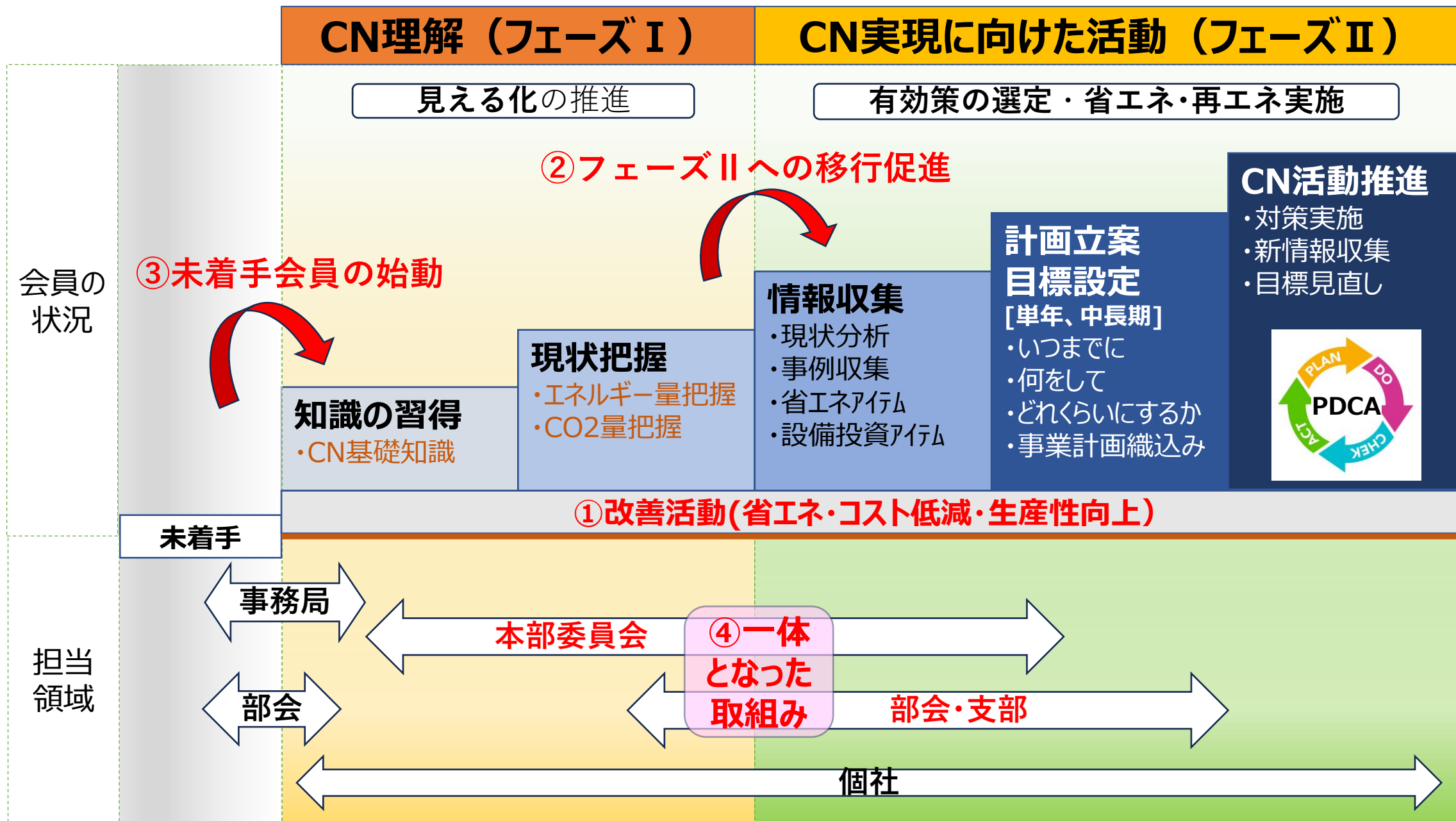
カテゴリー		活動計画	役割分担	2024年への追加課題
3	計画支援	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の算出依頼 ・集計結果の分析（増減、再エネ率 他） ・ // 層別、規模感FB 	環境委員会 (吉村委員長)	<ul style="list-style-type: none"> ・規模差考慮等のLCA取組み
		<ul style="list-style-type: none"> ・LCA評価ツールの検討 	CN専門 (増井委員長)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・LCA評価ツールの会員への展開 	環境委員会 (吉村委員長)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・商用車電動化への対応 (高電圧対応、動力源対応) 	中央技術委員会 (布原委員長)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル等のルール策定 		
4	実行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・車工会目標の展開と推進方法の支援 	環境委員会 (吉村委員長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会支援WG活動の更なる充実 -車工会独自活動として高評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・現地現物での具体的な取組み支援 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー、CO2の見える化支援 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・会員間の意見交換会を開催し、問題解決 	CN専門委員会 (増井委員長)	

2024年度活動

<基本的な考え方>

- ・ 2050年の全会員CN実現に向け、**追加課題**を織込みつつ2023年度活動を**継続・充実**させ、取組み**会員の裾野を拡大**
 - ①**改善活動**（省エネ・コスト低減・生産性向上等）の**再啓発**
 - ②現時点フェーズⅠ会員の**フェーズⅡへの移行促進**
 - ③**未着手会員の始動**
 - ④本部委員会と部会・支部との**一体となった活動**
 - ⑤LCAは、実状に応じた展開とする

<2024年度の車工会CN推進イメージ>



<対応案>

- ①**改善活動**：効果的な**再啓発方法**検討・実施（HP・車体NEWS、部会等）
 - ②フェーズⅡへの移行促進：**環境委員会活動**の充実、特に
 - 1)**事例共有**：体系的事例整理
 - 2)訪問**支援**：部会CN担当者の同行等、**部会と一体となった取組み**
 - ③未着手会員の始動：**事務局強化、部会連携**
 - 1)**個別アプローチ活動**を強化
 - 例：各トップへ専務理事から電話で未着手理由確認と困りごと相談（1日1社CN Telコール）
 - 2)状況を部会で共有し、**部会内でフォロー**
- ※他の本部委員会(中央業務・広報・中央技術)は活動を継続推進

④4部会(特装・特種・トラック・バン)では、部会毎のCN活動を推進

例1)部会の中に、**CN分科会**を設定：特装部会の8分科会を参考
—主査を選任、中核会員がメンバー

例2)**部会内CN担当者**（規模大の会員でCNが自社内業務の方等のアサイン）、
或いは**部会CN担当会社**を設定

⇒ 部会毎に**最適な体制**を検討いただけないでしょうか？

※部会CN担当者、或いは部会CN担当会社の推進事項

- 1) **自社取組み**を部会内で**報告**
 - 2) 各社の**活動状況ヒアリング**と**部会報告**
 - 3) 好事例会員への**工場見学会** (部会工場見学会をCN中心にシフト)
 - 4) 好事例を環境委員会事例WGへ**フィードバック**
 - 5) 環境委員会**支援WG**の訪問活動へ参加し、部会へ**フィードバック**
- } **環境委員会と
一体の活動**

※他4部会(トレーラ・バス・資材・小型)は、個社取組みを着実に推進いただく

④支部では、中部の「**勉強会 + 工場見学会**」の事例を**他支部に展開**

- **近畿**支部：2024/1/31、 **新潟**支部：2024/3/8 開催予定
(杉山分科会長講師)

⑤LCAは、#22CN専門委での議論を踏まえ、下記とする

1)企業規模小の会員は当面**Scope1・2に専念**、自社使用電力と化石燃料削減に注力

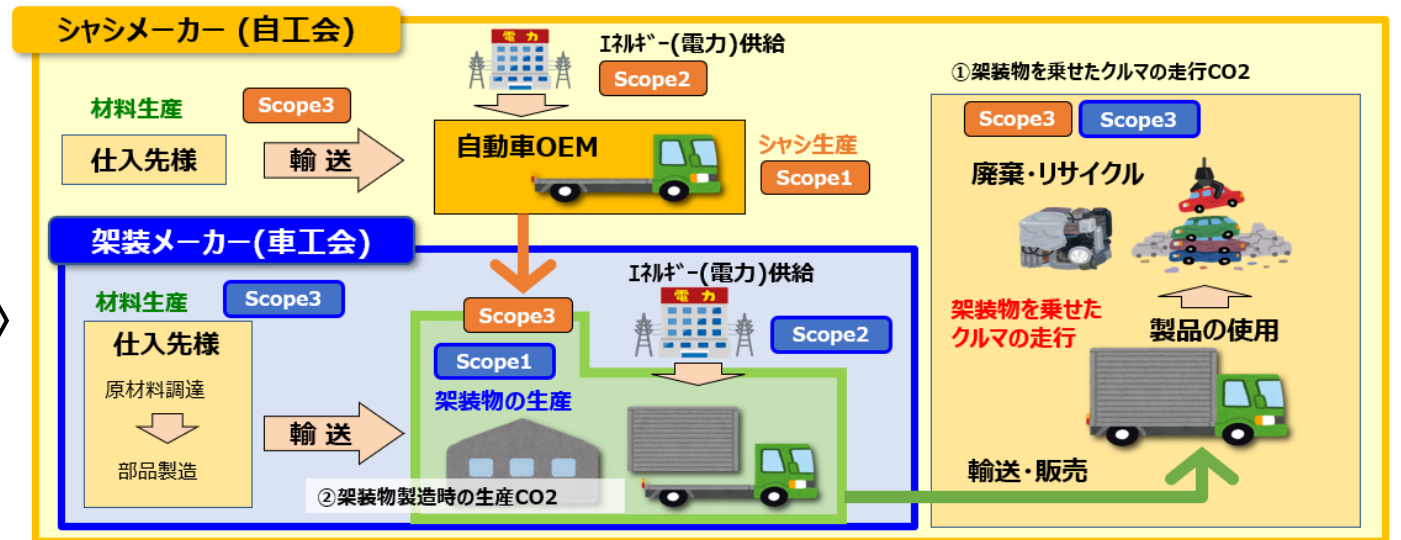
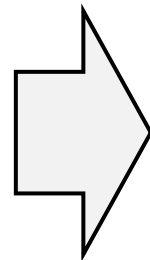
2)規模大等の会員は**個社でLCA(Scope3)を推進**いただく

⇒ **HP・勉強会**等で好事例・知見を共有

3)環境委員会LCA WGは、1)2)を前提に**規模別簡易計算フォーマット**の作成、**先行会員参加**による**WGの推進等進め方**を検討

規模小：当面Scope1・2専念

規模大：個社でLCA(Scope3)推進
拡大WG参画等



<議論のポイント>

- 2024年度活動の基本的な考え方

- ①改善活動の再啓発

- ②フェーズⅡへの移行促進

- ③未着手会員の始動

- ④本部委員会と部会・支部の一体活動

- ⑤LCAは実状に応じた展開

- 部会 1)部会毎のCN推進体制の検討

- 2)環境委員会との一体活動

- LCA推進 1)規模別

- 2)LCA WG体制

以上